

# ふれあい フォトギャラリー

区内の行事を写真で紹介します



▲こけしに向かう表情は真剣そのもの

出来上がったカラフルなこけし▶



## こけしの表情にぎやかに

4月10日～16日、菊水小学校6年生児童86人が、「こけしの絵付け」に挑戦しました。これは、宮城県白石市で5月3日から5日まで開催された「第45回全日本こけしコンクール」に特別展示品として出品するために行ったもの。子どもたちは水彩絵の具で思い思いの色を塗り、オリジナルのこけしを完成させていました。

## 大きくなって帰ってきてね！

東白石小学校の全校児童480人が5月2日、冬の間大切に育てたサケの稚魚約5,000匹を豊平川に放流しました。これは、子どもたちに自然と生命の大切さを学んでもらおうと取り組んでいる行事で、今年で23回目。参加した児童たちは各自持参したカップで稚魚を放流し、一匹一匹を丁寧に見送っていました。



▲「見て、元気に泳いでいくよ」



◀来場者も両手を使ってダンス！



▲ステージから降りての大熱唱

## イキイキわくわく音楽会

5月10日、札幌デイ・ケアセンターで、「白石区ふれあいバラコンサート」が開催され、市民約280人が訪れました。この日は、白石区を拠点に道内外で活躍するグループ「パフ・ファミリー」が、クラシックからアニメソングまで約25曲を披露。来場者は手拍子をしたり体でリズムを取ったり、とても楽しそうな様子でした。